

PTSデータの出力方法

2020年4月現在
StoreManagerGX
Ver7画面

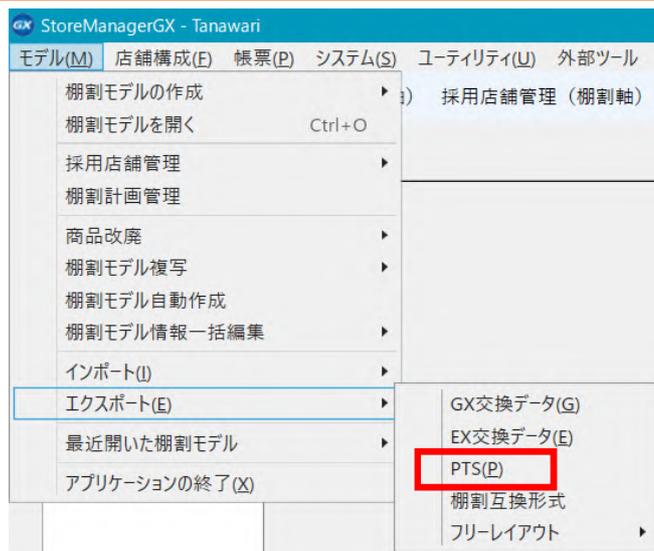
他の棚割システムとの間で、データ(陳列情報・商品情報)をやり取りする際に使用する「PTSデータ」と「プラネットデータ」について、出力方法および注意事項を説明します。

- PTSとは、GXとそれ以外の棚割ソフト間でデータ(陳列情報)をやり取りするファイル形式です。
- PTSの形式には、「Ver3形式」、「Ver2形式」、「Ver1形式」があります。提供(取込)先の対応バージョンに合わせて選択してください。

【PTSバージョンによる違い】

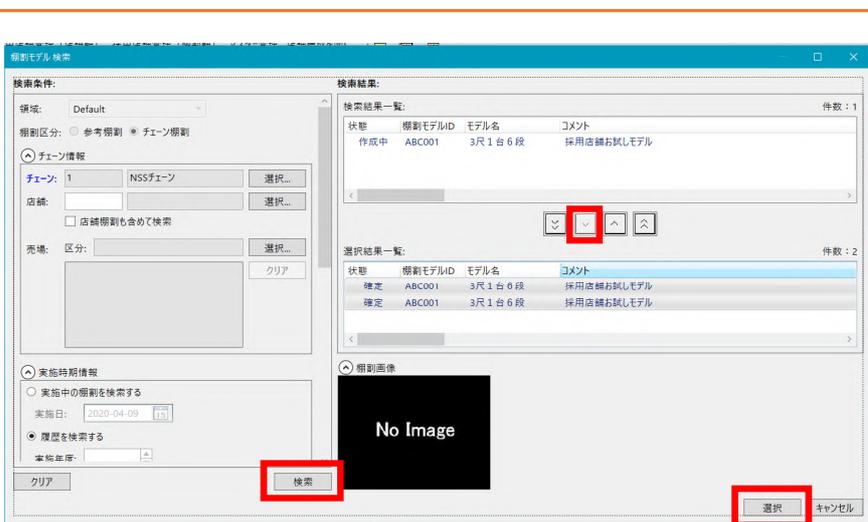
- Ver1:商品の「陳列情報」、「フェース数」のみをやり取りできます。
- Ver2:Ver1に加えて「棚サイズ(幅・高さ・奥行)」をやり取りできます。
- Ver3:Ver2に加えて商品の「積上げ」、「在庫数」、「奥行数」をやり取りできます。

新しいバージョンほど情報量が多く、棚割の再現性が高くなります。



- 初期画面より[モデル]-[エクスポート]-[PTS]を選択します。

棚POWER Ver7以降のユーザー向けに出力する場合は、[棚割互換形式]を選択します。

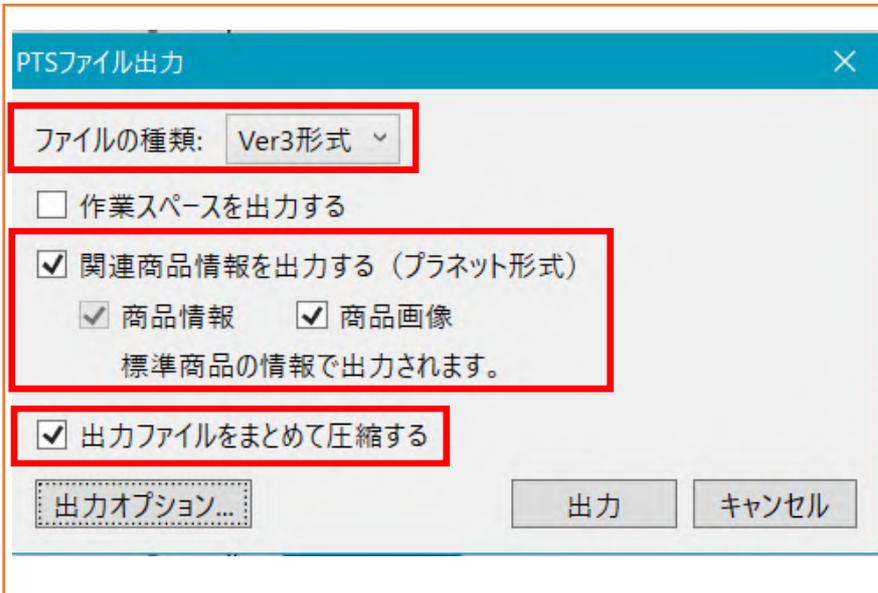


- 出力対象の棚割モデルを選択します。

抽出する棚割の条件を入力して[検索]します。

右側の「検索結果一覧」に棚割が表示されます。棚割を選択して[選択]をクリックします。

「選択結果一覧」に出力対象の棚割が含まれていることを確認して、[選択]をクリックします。



- 「ファイルの種類」(形式)を指定します。
 - 商品情報(プラネットデータ)を出力する場合は、チェックを入れ[出力]します。
- 関連情報を出す(プラネット形式)
商品情報 商品画像
- 「出力ファイルをまとめて圧縮する」にをすると、ファイルを圧縮して出力できます。



- PTSデータは棚割モデル数分のファイル(.csv)として出力されます。
 - 商品情報および商品画像は、プラネット形式にて、JANの頭7桁のフォルダに分けて出力されます。
- 圧縮出力の場合、棚割モデル数分のPTSデータとプラネットデータが1フォルダ内に出力されます。(左図参照)